1.接続アプリケーションを選択します。

[Japanese] を選択して [NEXT]

[次へ]を選択

ワイヤレスドックは次のように設置してください

ドライブパネルの保護シートは

はがしてください。

USB ワイヤレス接続のしかた

アクセスポイントモードでの接続

ステーションモードでの接続 1

ステーションモードでの接続2

転送速度は

無線 LAN 子機

無線 LAN 子機

(ステーションモード)

高速転送 ((((

STEP2

Pioneer

magnet traggers and

3 PioneerWirelessConnect(ネットワーク接続用アプリケーション)のインストール

す。その場合、「はい (Y)」を選択してください。

to Base (Asser)

[次へ]を選択

CORN. Water Co.

[開始]を選択

ワイヤレスドックの設置

同梱のブルーレイドライブをUSBワイヤレス接続で使用するのに必要なアプリケーションです。次の手順に従ってインストールしてください。

コンピューターによっては、**「不明なブログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」**と表示されま

CARREL MAN, CARRELL CO.

[プログラムと機能]より行ってください。

ンを終了させてから行ってください。

を使いのコンピューターのデスクトップにある

インストール完了後は、セットアップ CD-ROM を取り出してからコンピューターを再起動してください。

ワイヤレスドックの上面に、横置き用 シールを 4 か所貼ってください。

ワイヤレスドックを持ち運んだり移動したりする場合は、ブルーレイドライブの部分を持たないでください。ブルーレイドライブがワイヤレスドックから抜けて落下し、故障の原因になります。ワイヤレスドックの部分を持って移動してください。

本機は、無線ネットワークにより無線 LAN ルーターやコンピューターと接続することができます。 お使いの環境により接続方法をお選びください。

● ワイヤレスドック、無線 LAN ルーター、コンピューターの距離が近すぎても、通信性能が落ちる場合があります。それぞれの距離を 1 m くらいにすることで改善することがあります。

接続ができません。

■ 転送速度が 1/2 になります。

ルを2基搭載する必要があります。

アクセスポイントモードとステーションモードについて

● ブルーレイドライブに AC アダブターを接続する必要はありません。 ● AC アダブターをコンセントに差し込むと、ワイヤレスドックが自動的に起動します。

● 電波干渉や他のネットワーク機器の影響もあるので、必ず高速転送できるとは限りません。

有線 LAN 接続

無線 LAN で接続する(アクセスポイントモード)

-2-

ヤレス接続アプリケーションが立ち上がります。

アンインストールする場合は、「コントロールパネル 1→

アンインストールする場合は、すべてのアプリケーショ

sConnect] をダブルクリックすると、ワ

内容を読んで[はい]を選択

セットアップが完了しました。

COMMUNICATION CONTRACT

横置き用シールの貼りかた

※付属のUSB2.0ケーブルは、DC電源

差し込んでください。

● 本モードで接続中、コンピューターでは無線 LAN インターネット

● インターネット接続をしたい場合は、ブロードバンドルーターなど と有線 LAN 接続するかコンピューターにワイヤレス LAN モジュー

● コンピューターにワイヤレス LAN モジュールを 2 基搭載する場合

● 無線 LAN ルーターがインターネットに接続されている場合は、無線 LAN でのインターネット接続が可能です。

● 転送速度が制限されるため、ブルーレイディスクがうまく再生でき

● 無線 LAN ルーターがインターネット接続されていれば、インター ネットを使用できます。

● 電波干渉や他のネットワーク機器の影響もあるので、必ず高速転送できるとは限りません。

● 高速転送のため、ブルーレイディスクも再生できます。

「トラブルと対策」(P.5) の関連事項をお読みください。

コネクター側に寄せて正しい向きで

「次へ]を選択

BDR-WFS05J (ワイヤレスブルーレイドライブ)

● セットアップガイド(本書)

BDR-XS05WF (ブルーレイドライブ) APS-WF01J (ワイヤレスドック)

セットアップガイド

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本セットアップガイドは本製品をネットワーク環境でお使いいただくための手順を説明しています。ブルーレイドライブなどの説明は、取 扱説明書をあわせてご覧ください。また、設定を始める前に、必ず取扱説明書の2ページの記載内容、「安全上のご注意」、「使用上のご注意」、および本セットアップガイドP.6の「電波に関するご注意」をお読みになったうえで 明書の 2ページの記載内容、「安全上の

同梱物を確認する

- 同梱物として次のものが入っていることを確認してください。
- ブルーレイドライブ
- ワイヤレスドック ● セットアップ CD-ROM (1枚) ● AC アダプター ● PC 用アプリケーション DVD-ROM (1枚)
- USB2.0 接続ケーブル ● ドライブ横置き用シール(4枚)
- * 同梱されていない付属品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<ORC8098-A>

橙点滅 橙点滅 ネットワークに接続していません

用できる状態になるまでおよそ20秒間かかります。

本機には電源 ON/OFF スイッチがついていません。しばらくお使いにならない場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてくだ

Cyber Link Media Suite のインストールのしかた

お使いの用途に合わせて、必要なアプリケーションをインス

Sound Material は高音質音源集です。心地よい環境音をお楽

. アプリケーションディスクをブルーレイドライブに挿入し

(ンストールするアプリケーションを

2. インストール手順に従ってインストールします。

 緑点滅
 かんたん接続で接続しています。

 橙
 2.4 GHz で無線LANルーターに接続しています。

 緑
 橙

 5 GHz で無線LANルーターに接続しています。

 赤点滅
 かんたん接続に失敗しました。

橙 電源 ON 後に一瞬両方の LED が点灯します

● アクセスポイントモード時

起動時間について

AC アダプターについて

CyberLink LabelPrint 2.5

CvberLink MediaShow 6

CyberLink Power2Go

しみください。

ます。

CyberLink MediaEspresso 6.5

berLink PowerBackur

CyberLink PowerProducer 5.5

CyberLink PowerDirector 10

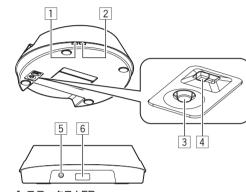
CvberLink PowerDVD 10

CyberLink PhotoDirector 4

● ステーションモード時

● 着せ替えシート (1 枚)

● 取扱説明書(保証書含む)



1. ステータス LED 2. ワイヤレス LED

- ネットワーク接続状況や動作モードを表示します。 3. かんたん接続ボタン
- ステーションモード時、かんたん接続するのに押します。
- 4. モード切換スイッチ アクセスポイントモードとステーションモードを切り換えます。

5. DC 電源コネクター 6. USB コネクター

ブルーレイドライブと接続します。

後、アプリケーションをコンピューターにインストールします。

1. ブルーレイドライブとコンピューターを USB ケーブル で接続します。

- 2. ブルーレイドライブの電源を入れます。
- 3. 付属の PC 用アプリケーション DVD-ROM (Cyber Link Media Suite) をブルーレイドライブに入れて、必 要なアプリケーションをコンピューターにインストール
- します。 ーションのインストール時にインターネット環境が必
- 要な場合があります。 アプリケーションのインストールには時間がかかるため、USB
- ケーブル接続でのインストールをお勧めします。 すでにアプリケーションがコンピューターにインストールされ
- ている場合は、手順4に進んでください

4. 付属のセットアップ CD-ROM をブルーレイドライブに



設定できるようになります。

1. ドライブユーティリティを選択します。

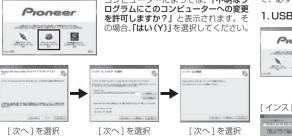
セットアップ CD-ROM の各アプリケーションの最新版は、パイ オニアホームページ (http://pioneer.jp/support/download/) からダウンロードできます。

ZIP ファイルで圧縮されている場合は、コンピューターにダウン

ロード後、解凍し、.msi や .exe の拡張子がついたファイルを実行してください。そのあとの手順は CD-ROM からのインストー

1 Pioneer BD Drive Utility のインストール 2 ワイヤレス対応高速 USB ドライバーの

本ユーティリティをインストールすることにより、静音モードなどが



コンピューターによっては、「不明なブロ グラムにこのコンピューターへの変更を 許可しますか?」と表示されます。その 場合、「はい (Y)」を選択してください。 「インストール開始]を選択

[OK] を選択

SCHLORGE BURTHUR-BOAN-BERTHLESS.

(CT-COR)

セットアップが完了しました。 アンインストールする場合は、[コントロールパネル] → [プログラムと機能]より行ってください。

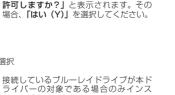
選択します。

本ドライバーをインストールすることにより、ワイヤレスでブルーレ イディスクや DVD を安定して再生できるようになります。ブルーレイディスクや DVD を安定して再生できるようになります。ブルーレイディスクの再生など、データレートが高い場合に必要となりますの ンピューターによっては、「不明なプ で、必ずインストールしてください。

ールができます。

セットアップが完了しました。 アンインストールする場合は、[コントロールパネル]→[プログラムと機能]より行ってください。

1.USB 高速化ドライバを選択します。



1. ワイヤレスドック底面にあるスイッチを



ワイヤレスドックを無線 LAN の親機として設定し、コンピューターと直接接続します。 コンピューターと直接接続するため、転送速度が速くなります。

2. AC アダプターをコンセントに差し込んで、本機の電源を 入れます。 約20秒後、ワイヤレス接続できる状態になると、ワイヤレス LED が緑色に点灯します。ネットワーク接続の方法は、Windows OS のバージョンにより異なりますので、各 OS での接続の方法を確認 してください (P.3)。 初期状態では 2.4 GHz に設定されていますので、ステータス LED

は橙色に点灯します。 本機の電源を切ったあとに、モード切換スイッチをアクセスポイントモードに変更してください。

アクセスポイントモードに変更したあと、本機の電源を入れてく ださい。モードの認識は電源供給後に行います。

Windows XP の場合

- 1. [スタート] → [設定] → [ネットワーク接続] → [ワイ 1.[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク ヤレスネットワーク接続] → [ワイヤレスネットワークの 表示]の順にクリックします。
- 2. 本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) 2. 本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) を選んでダブルクリックします。



3. ラベルに記載されている KEY を入力します。

4. KEY を再入力 → [接続]をクリックします。



う WED-回回回回 にはネットワーク キー 加切す キーまたは WFA キー)が必要です な母え者による。カスットワークへの解析的な人と守立たます。



コンピューターによっては、設定手順が異なる場合があります。 詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご確認ください。 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワー /ターネット接続]→[ネットワーク接続]→[ワイヤレス接 添] → [ワイヤレスネットワークの表示] または、[スタート] → [接続] → [ワイヤレスネットワーク接続] 続] → [ワイヤレスネットワーク接続の表示]

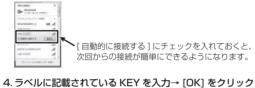
Windows 7 の場合

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク 共有センター] → [ネットワークに接続] の順にクリック

2. 本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) を選んでダブルクリックします。



3. [接続]をクリックします。



します。



アクセスポイントモードに比べると転送速度は低下します。

ワイヤレスドック底面

3.かんたん接続ボタンを押します。

1. ワイヤレスドック底面にあるスイッチをステーションモー

2. AC アダプターをコンセントに差し込んで、本機の電源を

本機が無線 LAN 親機(無線 LAN ルーター)に認識されます。

かんたん接続ボタン

ステータス LED とワイヤレス LED の両方が緑色に点滅します。

本機のかんたん接続ボタンを押したあと、無線 LAN 親機のかん たん接続に相当するボタン (無線 LAN 親機メーカーにより名称 が異なる場合があります)を押します。約30~60秒後に、ステー

タス LED とワイヤレス LED の両方が橙 (2.4 GHz 接続) または緑と橙 (5 GHz 接続) になっていれば、接続完了です。

ワイヤレス LED が赤で点滅している場合は、かんたん接続失敗です。再度、本機と無線 LAN ルーターのかんたん接続ボタンを

電波干渉や電波状態により、接続に失敗することがあります。

数回接続を確認しても接続できない場合は、お使いの無線 LAN

無線 LAN ルーターの初期化の方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ターのかんたん接続ボタンを押して接続してください。

-ターをいったん初期化してから、再度本機と無線 LAN ルー

4.かんたん接続ボタンを3~5秒間押し続けます。

電源が入ると、ステータス LED とワイヤレス LED が橙色に点滅し

5. [接続]と表示されれば完了です。

▶無線 LAN で接続する(ステーションモード)

無線 LAN ルーターをお持ちの場合、本機をステーションモード(無線 LAN の子機)として使用することができます。

ドに入れます。

本機外側

入れます。

ワイヤレスドック底面

Windows Vista の場合

Particular state of the second

します。

完了です。

るようになります。

Of the Samuel As

を選んでダブルクリックします。

共有センター] → [ネットワークに接続] の順にクリック

3. ラベルに記載されている KEY を入力→ [OK] をクリック

4. [(SSID 文字列) に正しく接続しました] と表示されれば

[このネットワークを保存します] および [この接続を自動的に開始

します] にチェックを入れておくと、次回からの接続が簡単にでき

1. デスクトップのネットワークアイコンをクリックします。



クします。



接続しますか]と表示されたら、[はい、共有を ON にし てデバイスに接続します]をクリックします。

5.接続が完了しました。

接続できた場合でも[制限あり]と表示されることがあります。 本機に接続した場合、本機を親機としたネットワークではインター ネットが閲覧できないため、このような表示になりますが、接続に

いんたん接続ボタンを押しても接続できない場合、またはかんだ

υ接続ボタンのない無線 LAN ルーターをお使いの場合は、次の。

. 本機をアクセスポイントモードに変更して、コンピューター

2. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立

[▼ステーション設定] → [無線 LAN] をクリックします

5. 無線 LAN ルーターの [SSID] と [KEY] を入力します。

・ [KEY] はお使いのルーターによって、「パスワード」または [PSK] と記載されている場合があります。

・ 暗号化方式などは、お使いの無線 LAN ルーターのネットワー

ーSSID を入力

7. 本機の AC アダプターをコンセントから抜き、ワイヤレス

ドック底面にあるモード切換スイッチをステーションモー

本機の電源を切ったあとに、モード切換スイッチをステーション

ステーションモードに変更したあと、本機の電源を入れてください。モードの認識は電源供給後に行います。

B. AC アダプターをコンセントに差し込みます。

パスワードは空白のままにしてください。

ク設定と同じものを選択してください。

6. [設定更新] をクリックします。

設定が完了しました。

モードに変更してください

4. ユーザーに [root] と半角小文字で入力→ [OK] をクリック



無線 LAN 接続を手動で設定する

うに操作してください。

と接続します (P.2)。

ち上げます。

Windows 8 の場合



を選んでダブルクリックします。







2. 本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx)



3. ラベルに記載されている KEY を入力→ [次へ]をクリッ



3.[設定ページを開く]をクリックします。



4. [▼アクセスポイント設定] → [無線 LAN] をクリック します。



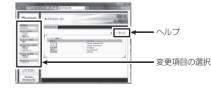


できなくなります。再度アクセスポイントモードでの接続設定 を行ってください。接続すると 5 GHz 帯域の通信を行えるよう

無線 LAN 接続の詳細を変更する

お使いのホームネットワーク環境により、変更が必要な場合は[ヘルプ]をご覧ください。

げます。



他の機器と重複した場合、変更できます。

ワイヤレスドック底面ラベルに記載されている KEY を変更できます。 他の機器と重複した場合、変更できます。

デフォルトゲートウェイ 無線 LAN ルーターと競合して、インターネットに接続できなく なった場合、[0.0.0.0] に変更してください。

[0.0.0.0] でお使いください。

ステーション設定

通常、かんたん接続により自動的に設定されますが、手動で設 定する場合のみ変更してください。

注注意 ファームウェアのアップデート中は、絶対に電源を切らないでく ださい。ワイヤレスドックが起動できなくなることがあります。

1.パイオニアのホームページ

2. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上

ウンロードしたファームウェアを選択します。



PioneerWirelessConnect を使って、コンピューターと かんたん切替を使う (アクセスポイントモードのみ)

いんたん切替を使うと、ネットワークの切り替えを簡単に行うことが できます。

無線LANの接続が完了したら、お手持ちのコンピューターで 1. 設定ボタンをクリックします。 設定ウィンドウが開きます。

PioneerWirelessConnect の使いかた

ワイヤレスドックを接続する

nect の設定をします。

① タスクバーを開いて

をクリックしてください。それでも表示されない場合は、ネット

3. [接続可能です]の表示が消え、[あなたが使用中です]

接続が失敗した場合は、通信チャネルの変更を行うと安定することがあります。通信チャネルの変更については、「無線 LAN の

設定を変更する (5 GHz 帯を使用する)」(下記) をご覧ください。

[あなたが使用中です]の表示が出れば接続完了です。

更新ボタン

┛┷ ダブルクリック

ダブルクリックで切断できます。

(プロパティ表示ボタン)

USB デバイス表示部分

切断を切り換えられます。

1. PioneerWirelessConnect を立ち上げます。

PioneerWirelessConnect のアイコンをクリックします。

お使いのコンピューターのタスクバーにある

ワーク接続に問題がないか確認してください。

Pa S Pioneer

Model with the transport of the transpor

Ploneer Corporation PIONEER BD-RW BDR-XS05
thm error form States (no.045) (St.5)

の表示が出れば接続完了です。

N N 2 0 0 ? ' Proneer

Pioneer Corporation PIONEER BD-RW BDR-XS05

接続が完了しました

v v a a o a x ---- 設定ボタン MANAGEN PROMISE TELEFORE VISIONS LAW HE THE PER C. MANAGEN POR TO LEGISLA. Ploneer Corporation PIONEER BD-RW BDR-XSO.

2.[このネットワーク接続に対してかんたん切替を使う]に チェックを入れ、ワイヤレスドックの SSID をクリック 2. 接続可能な機器(本機)をダブルクリックして接続します。 します。 接続可能な機器(本機)が表示されていない場合は[更新ボタン]



ネットワークが切り換わり、本機が表示されます。



4. ネットワークを元の状態に戻すには解除ボタンを押して ください。



ンによっては、切り換えがうまくできないことがあります。そ の場合は、[ネットワークの設定]より手動でアクセスポイント 手順2で接続可能な機器(本機)が認識されない場合は、接続/ 切断のダブルクリックを数回繰り返すことで、認識されることがあります。

本機では、802.11a/b/g/nがお使いになれます。より高速な通信を行いたい場合、5 GHz 帯での802.11n をお使いください。

● 工場出荷時は、2.4 GHz 帯に設定されています。
● お使いのコンピューターが 5 GHz 帯に対応していない場合は、設定を変更しないでください。
● 誤って 5 GHz 帯に変更してしまった場合は、「すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す」(P.5) をお読みいただき、ワイヤレスドックの

1. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上 5. ユーザーに [root] と半角小文字で入力→ [OK] をクリッ

無線 LAN の設定を変更する(5 GHz 帯を使用する)

クします。 パスワードは空白のままにしてください。 2. USB デバイス表示部分を選択して右クリック→ [プロパ

> 着古: このサーバーは、ユーザー名とバスワードを含金ではない! 透信することを要求しています (含金な味味を使わない)基本的な! OK #93

6. [通信チャネル] に変更チャネルを入力→[設定更新]を クリックします。 通信チャネルには [48] を入力することをお勧めします。



7. [OK] をクリックします。



・ 再起動後は周波数が変わっていますので、Web 画面での接続が

通常 2.4 GHz から 5 GHz への変更以外は、設定を変更する必要はありません



4. [アップデート] をクリックします。

正常に終了すれば、アップデートの完了です。

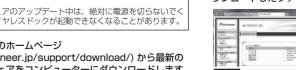
お使いの無線 LAN ルーターやネットワーク接続アプリケーショ

2000



1. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上 変更可能な項目は次のとおりです。

ワイヤレスドックのファームウェアをアップデートする



(http://pioneer.jp/support/download/) から最新の ファームウェアをコンピューターにダウンロードします。

3. [新しいファームウェア] → [参照]をクリックして、ダ

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す

モード切換スイッチは、初期状態ではアクセスポイントモード側です。アクセスポイントモード側にスイッチを切り換えてください。

1. 本機のかんたん接続ボタンを押しながら、AC アダプターをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

・ 初期化中に途中で電源を切らないでください。操作を誤った場合は、AC アダプターをいったんコンセントから抜き、手順 1 から操作を

- 2. 本機の電源が入り、ワイヤレス LED が赤色に点灯したら (2 秒~3 秒かかります)、かんたん接続ボタンから指を放します。 約 20 秒後、正常に初期化が完了すると、ワイヤレス接続が可能な状態となり、ワイヤレス LED が緑色に点灯します。また、初期状態では 2.4 GHz に設定されているので、ステータス LED は橙色に点灯します。
- 3. 初期化が完了しました。



トラブルと対策については、取扱説明書にも記載があります。あわせてご確認ください。

動画再生中に絵がカクカクすることがある。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する (5 GHz 帯を使用する)」(P.4) に書かれている [通信チャネル] の設定 を参考に、2.4 GHz 帯を使用の場合、現在の設定を 1 ch ~ 6 ch → 7 ch ~ 12 ch ~、5 GHz 帯を使用の場合、 現在の設定を 36 ch \sim 40 ch \rightarrow 44 ch \sim 48 ch \sim 変更してみてください。(ステーションモード時はアクセスオ イントである無線 LAN ルーター側の設定を変える必要があります。変更方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書 をご覧ください。)

- ・一部常駐アプリケーションには、アクセスポイントを定期的に検索するような機能を持ったものがあります。その機 能が優先されていると、本機との接続を一時的に中断するため、絵がカクカクすることがあります。影響を与えてい るアプリケーションを終了させると改善する場合があります。
- ・ブルーレイ 3D ディスクの再生は、データ転送量が非常に多くなるため、USB 有線接続で視聴してください。
- ・本機は、アクセスポイントモードとステーションモードの両方の機能を持っています。ステーションモード(本機と 無線 LAN ルーターとを接続することにより、同じネットワークのコンピューターで本機を使用する環境)をお使い の場合は、最大転送速度がアクセスポイントモード(本機とコンピューターを直接接続して使用する環境)の場合の 1/2になります。ブルーレイディスクを再生する場合は、アクセスポイントモードをご使用ください。
- ・ブルーレイディスク(2D)の最大データ転送量は 54 Mbps です。無線 LAN アダプターの仕様としては、最大 300 Mbps の 802.11 a/n MIMO (2 x 2) をご使用ください。内蔵無線 LAN モジュールの性能によりブルーレ イディスクの動画再生が安定しない場合は、300 Mbps 規格の USB タイプの無線 LAN モジュールをご使用いただ くことにより、安定した動画の再生ができる場合があります。
- ・コンピューター、無線 LAN ルーター、ワイヤレスドックの距離が近すぎて通信性能が落ちる場合があります。距離 を 1 m くらいにすることで改善することがあります。
- 2.4 GHz 帯は、無線 LAN 関連機器以外にもいろいろな機器で使用されており、電波干渉を受ける可能性があります また、電子レンジなどの機器からの影響により電波障害が発生することがあります。2.4 GHz 帯をご使用の場合は、 5 GHz 帯のチャネルに変更することで改善することがあります。
- ・ワイヤレス接続でブルーレイディスクをスムーズに再生するためには、お使いのコンピューターにワイヤレス対応高 速 USB ドライバーをインストールする必要があります。P.1 の STEP1「設置前の準備」をご覧いただき、②「ワ イヤレス対応高速 USB ドライバーのインストール」を正しく行ってください。ドライバーは、同梱のセットアップ CD-ROM からインストールできます。ドライバーのインストール時には、ワイヤレス接続時に使用する同梱のブルー レイドライブをお使いください。同梱のドライブ以外でインストール作業を行った場合、正しく動作しませんのでご 注意ください。

ワイヤレスドックと接続したあと、インターネットに接続できない。

・アクセスポイントモードでワイヤレスドックに接続しているとき、別のネットワークに接続しないとインターネット は閲覧できません。別のネットワークに接続できない場合は、ワイヤレスドックのご使用後、インターネット接続に 切り換える必要があります。

【対応方法】[ネットワーク接続]より SSID を切り換えてください。または、「PioneerWirelessConnectの使いかた」 (P.4) の「かんたん切替を使う」をご覧いただき、設定後に切り替えてください。

アクセスポイントモードで周波数を変更したら、SSID リストに本機の SSID(WBD-xxx)が 表示されない。

お使いのコンピューターが5 GHz 帯に対応していない可能性があります。

【対応方法】「すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す」(上記)をご覧になり、初期化してください。

ワイヤレスドックの 802.11ac 対応状況

本機は802.11ac に対応していません。

ブルーレイディスクを視聴しているときに、SSID リストを表示させると、動画がカクカクする。

· SSID リスト(ネットワークのアクセスポイント接続先一覧のことです。コンピューター画面右下のショートカット アイコンやネットワーク接続により表示されます)を表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行う ため、動画のデータ転送が一時的に中断するためです。

USB-DAC で音楽を聴いているときに、SSID リストを表示させると、音楽にノイズが出る。

· SSID リストを表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行うため、音声のデータ転送が一時的に中

BD Live を利用したいのですが、ワイヤレスドックに接続していると、利用できない。

・BD Live を利用する場合は、インターネットに接続した無線 LAN ルーターをアクセスポイントとして、ステーショ ンモードでお使いいただくか、またはコンピューターで複数のネットワークを同時に使用する環境が必要です。動作 に問題がある場合は、USB 有線接続でご使用ください。

コンピューターから AC アダプターを外すと、動画がカクカクする。

お使いのコンピューターの省雷力機能により、コンピューターのパフォーマンスが下がっている可能性があります。 [コントロールパネル] → [電源の設定] でバッテリー駆動時のパフォーマンスを下げないよう設定してください。計 定してもスムーズにならない場合は、お使いのコンピューターの仕様により、バッテリー駆動時の省電力機能を外せ ない場合があります。コンピューターの取扱説明書をご覧ください。動作改善しない場合は、コンピューターに AC アダプターを接続してお使いください。

ワイヤレスドックとネットワーク接続ができない。

· アクセスポイントモード時は、SSIDまたはネットワークKEYを間違って設定した可能性があります。ワイヤレスドッ クの底面をご確認のうえ、再度設定してみてください。

ワイヤレスドックとはネットワーク接続できているのに、ブルーレイドライブが認識できない。

- ・ウィルス対策ソフトとの相性が悪いことがあります。ウィルス対策ソフトを最新にアップデートすると改善する場合 があります。
- ・ウィルス対策ソフトの中には「ファイヤーウォール」の設定により、ネットワーク機器を認識させない場合があります。 強度設定を変更することにより認識する場合があります。また、ワイヤレスブルーレイドライブを「公共」「パブリッ ク」のネットワークにしていると認識しない場合があります。「ホーム」「プライベート」にすることで認識する場合
- ・コンピューター起動後は、PioneerWirelessConnect でコンピューターとワイヤレスドックに接続しているブルー レイドライブを接続する必要があります。P.4 の「PioneerWirelessConnect の使いかた」をご覧いただき、ブルー レイドライブを接続してください。

マルチホーム環境のご注意

内蔵無線 LAN の他に USB タイプの無線 LAN を増設しているコンピューター環境の場合、本接続アプリケーション が複数無線 LAN の環境を制御する必要があります。必ず、無線 LAN 子機をコンピューターに接続してから、本接 続アプリケーションをインストールするようにしてください。あとで増設する場合は、いったん本接続アプリケーショ

-5-

ンをアンインストールしてから、無線 LAN 子機をコンピューターに接続し、その後再度インストールするようにして

データ記録中または再生中にエラーメッセージが表示されたり、データ記録や再生に失敗したり する。または、データ記録や再生に非常に時間がかかる。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する(5 GHz 帯を使用)」(P.4) に書かれている「通信チャネル」の設定を参考に 2.4 GHz 帯をお使いの場合、現在の設定を $1 ch \sim 6 ch$ から $7ch \sim 12 ch \sim .5$ GHz 帯をお使いの場合、現在の 設定を $36\,\mathrm{ch}\sim40\,\mathrm{ch}$ から $44\,\mathrm{ch}\sim48\,\mathrm{ch}$ へ変更してください。ステーションモード時はアクセスポイントである 無線 LAN ルーター側の設定を変更する必要があります。変更方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明 書をご覧ください。それでも改善しない場合は、USB 有線接続に変更して、データ記録や再生を行ってください。

本機ブルーレイドライブ以外の USB 機器を接続したい。

- 一般的な USB デバイスなら認識し使用することができます。ただし、使用する場合の定格は 500 mA です。定格を 守るようにしてください。また、本機ブルーレイドライブ以外について、動作保証および動作検証はしておりません。
- · USB接続のスピーカーをお使いの場合、ノイズが出たり音が出なかったりすることがあります。 その場合は、コンピュ-ターに直接接続してお使いください。
- USB ハブを経由して本製品にブルーレイドライブを接続することもできますが、USB ハブ経由の接続については動作 保証および動作検証しておりません。USB ハブのバスパワー供給能力が足りない場合もありますし、本機が認識でき

ネットワーク KEY を変更したらネットワーク接続できなくなった。

・Windows OS が変更前のネットワーク KEY を記憶している場合があります。ネットワーク接続のプロパティでネット ワーク KEY を変更後の内容に書き換えてください。また、ネットワーク KEY がわからなくなった場合は、本機を初期 化してお買い上げいただいた状態に戻してからご使用ください。

アクセスポイント/ステーションモード切換スイッチが効かない。

・アクヤスポイントモードとステーションモードの切り換えは、AC アダプター接続時の起動時のみです。スイッチを切 り換え後、ACアダプターをコンセントから抜いて、もう一度差し込んでください。

家族みんなで共有したい。

・アクセスポイントモード時、ステーションとして5台のコンピューターと同時接続が可能です。ただし、本機ワイヤレ スドックに接続する機器は USB 機器として認識されるため、同時に複数のコンピューターからはご使用できません。

コンピューターに無線 LAN モジュールが2つあるのに、無線 LAN ルーターに接続している方で インターネットに接続できない。

デフォルトゲートウェイは、初期状態で「192.168.17.10」になっています。1台のコンピューターでデフォルトゲー トウェイが2つ競合し、インターネットに接続できなくなる場合があります。その場合は、デフォルトゲートウェイを 「0.0.0.0」に変更することで改善することがあります。

無線 LAN ルーターとかんたん接続ができない。

一部の無線 LAN ルーターでかんたん接続の使用に制限があるものがあります。無線 LAN ルーターの電源を入れてから 無線 LAN ルーターの起動完了後、ワイヤレスドックの電源を入れ、かんたん接続することで改善する場合があります。

電波に関するご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、 家庭環境で使用することを目的としていますが、この 装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用さ れると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この 周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジ やコードレスフォンなど)で使用されています。

- 以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができ なくなることがあります。 • 2.4 GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機
- 器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。 (環境に より電波が届かない場合があります。) • ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合が
- テレビにノイズが出た場合、本機 (および本機対応製品) がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなど のアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があり ます。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子か

<u>(1)</u> 注意

ら遠ざけて設置してください。

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償 責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いか ねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての無線 LAN 機器との接続動作を保証する
 [2.4] : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を示す ものではありません。
- 弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関す る通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねま す。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接 続機器のメーカーにお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで 使用周波数帯とチャネル番号に関す は使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、るご注意 事故の原因となる恐れがあります。
- いでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、 事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に 従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

また、W52/W53/W56のチャネルと中心周波数は以下と補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知 なります。
器、自動ドア その他自動性が過ぎ出生! 器、自動ドア、その他自動制御機器など。 ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、 該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波によ る影響についてご確認ください。

-----電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認 証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無 線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内の みで使用できます。ただし、以下の行為を行うと法律により 罰せられることがあります。 本機を分解/改造すること。

• 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、想定され る与干渉距離は約 40 m です。 の機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・

医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている 移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定 小電力無線局(免許を要さない無線局)並びにアマチュア無線 局(免許を要する無線局)が運用されています。 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線

- 局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運 用されていないことを確認してください。 一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有
- 害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用 周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ で、下記ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための 処置など(たとえば、パーティションの設置など)につい
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あ るいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例 が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、 エスティトレード テクニカルサポートセンター(取扱説 明書記載) にお問い合わせください。

2.4 GHz無線LAN表記の意味について

2.4 DS/OF 4

• [DS/OF]: 変調方式 DS-SS 方式 /OFDM 方式を示す

• [4] : 想定干渉距離が 40 m 以下であること : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を

回避可能であることを意味する 5 GHz 帯の W52/W53 は、無線 LAN および電波法の規制 により野外では使用できません。

航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しな 使用できるチャネルは動作モードによって異なります。

ステーションモード時 W52/W53/W56 および	アクセスポイントモード時	W52 および 1 ch ~ 13 ch
1 611 - 10 611	ステーションモード時	W52/W53/W56 および 1 ch~13 ch

-	W52	36 ch (5180 MHz), 40 ch (5200 MHz), 44 ch (5220 MHz), 48 ch (5240 MHz)
-	W53	52 ch (5260 MHz), 56 ch (5280 MHz), 60 ch (5300 MHz), 64 ch (5320 MHz)
) £	W56	100 ch (5500 MHz), 104 ch (5520 MHz) 108 ch (5540 MHz), 112 ch (5560 MHz) 116 ch (5580 MHz), 120 ch (5600 MHz) 124 ch (5620 MHz), 128 ch (5640 MHz) 132 ch (5660 MHz), 136 ch (5680 MHz)

140 ch (5700 MHz)

-6-

osoft、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およ びその他の国における登録商標または商標です。 ※ 商標・登録商標に関しては取扱説明書内にも記載があります。あわせてご確認ください。



では、本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保持するために、 原文(英語)を記載しています。 stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.) These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by your rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program or a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software intertranger or.

Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange, or.

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the test of softeether and above on a medium that the softeether are above on a medium of the softeether and a source code, to be distributed under the softeether and above on a medium of the softeether are above on a medium of the softeether are some code, the distributed corresponding source code. This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection belowe.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable or object code is made by offering access.

which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable. If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

icense will not have their licenses terminated so long as such parties emain in full compliance. You are not required to accept this License, since you have not signed to However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works hased on it.

If a serious definition of the finition of the first science by think parties to this License. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and 'any later version', you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

thttpd 2.25b

Copyright © 1995, 1998, 1999, 2000, 2001 by Jef Poskanzer <jef@ mail.acme.com>. All rights reserved.Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

lowing conditions are met:
Addistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
and/or other materials provided with the distribution.

and/or other materials provided with the distribution.

'HIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS
'AS IS' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT
IOT LIMITED TO, THE MPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND
ITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT
SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,
NOIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION)
OWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
THERWISS ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
VEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. Some parts
of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices with
cense noted above.

- f the thttpd:2.25b are provided with the following copyright notices with cense noted above, opyright © 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1999 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1996 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1998 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1998 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1998 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com>. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com]. lopyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer < [ef@mail.acme.com]. lopyright © 1995, 2000 by
- py: pyright © 1995, 1998, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. pyright © 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. parts of the thttpd:2.25b are provided with the following copyright tices with license notted above
- opyright (c) 1988 Regents of the University of California. All rights reserved.

 Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

❖ iperf v2.0.4

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (loerf) and associated documentation files (the 'Software'), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this 6 list of conditions and the following disclaimers.

edistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, nis list of conditions and the following disclaimers in the documentation nd/or other materials provided with the distribution. either the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its ontibutors may be used to endorse or promote products derived from this oftware without specific prior written permission.

DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRAI TO ROTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WI THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE

❖ GNU General Public License and GNU Lesser General Public License

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU General Public License v2, GNU Lesser General Public

- linux kernel 2.6.28. Copyright (C) 1991 Linus Torvalds. Licensed under usyBox v1.16.2 multi-call binary. Copyright (C) 1998-2009 Erik Indersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. Licensed under 2 shfs v3.4 Copyright: (C) 2002-2009 Phillip Lougher Licensed under 8.
- to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

 If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution imitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

 The Free Software Foundation may builsir evisied and/or new versions. ve of 2009.01-rc1 Wolfgang Denk and others. Licensed under GPLv2 : 2.5 Copyright (C) 1992-2006, 2007 Free Software Foundation, : Licensed under LGPL v2.1. You can get corresponding open source code from the following URL. http://www.gss-nignage.com/it/blustay www.uss-มนาเฮยเ.comภ.r/Diu-ray refer to the following URL for further information of GNU General 9. License Version 2.

Se feter to the Indication in Licinses Version 2. 1//www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html ase refer to the following URL for further information of GNU Library neral Public License Version 2.1. 1. AMANUA GRULOTR/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2. June 1991
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble
The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is of preserving the free software free software free software free software free software free software and change free software free software free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

Preamble
The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is ntended to guarantee your freedom to share and change free software to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and o any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public Loense instead.) You can apply it to your programs, too. When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Un General Public Licenses are designed to make sure that you have the eedom to distribute copies of free software (and charge for this service if on which get the software seeds of the software (and charge for this service if on which get the software seeds of the in new free programs; and that our know you can do these things.

you know you can do these things.

AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU SHOULD THE PROCESSARY SERVICING. REPAIR OR CORRECTION. YOU SHOULD THE PROCESSARY SERVICING. REPAIR OR CORRECTION.

It is not these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

It is not the software, or if you modify it.

It is not the software or if you modify it.

AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU SHOULD THE PROCESSARY SERVICING. REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR ANY OTHER PAIRY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE OF A 1902. THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratts or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain the veryone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations. Finally, any free program is threatened constantly by software patients. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program vill individually obtain patent licenses, in effect making the program propriets reveryone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION One line to give the program's name and a brief idea of what it does. > Copyright (C) <- year > Canner of author's a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed as notice placed by the copyright holder saying it may be distributed in the program of the GNU General Public License as published by the copyright holder saying it may be distributed in the program of the GNU General Public License as published by the copyright holder saying it may be distributed in the program of the GNU General Public License as published by the copyright holder saying it may be distributed in the program of the GNU General Public License as published by the program of the GNU General Public License as published by the program of the GNU General Public License as published by the program is free software. GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program" below, refers to any such program or work, and a work based on the Program means either the Program or any derivative work under copyright law, that is to say, a work containing the Program or or program or program or program or program or any derivative work under copyright law, that is to say, a work containing the Program or any derivative work under copyright law, work that is to say, a work containing the Program or any derivative work under copyright law, that is to say, a work containing the Program or any derivative work under copyright law, that is to say, a work containing the Program or any definition in the term modification;) Each licensee is addressed as you.

Activities other than copyring, distribution and modification are not overed only if its contents constitute a work based on the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program is interactive, make it output a short notice like this when it that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program does.

1. You may copy and the program does.

1. You have copy and propriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty, keep intact all the notices that program a copy of this License along with Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and when the program a copy of this License along with the program and propriate copyright in the program and propriate cop

other recipients of the Program a copy or this Liberise during most as Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices and the program is a subroutine library, you may a successful to the program of the program of

GNU LESSER GENERAL PUBLICLICENSE

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed. [This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

consider it more useful to permit linking proprietary applications with the ibrary. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public iconse instead of this Linese.

Preamble The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are needed to guarantee your freedom to share and change free software to make sure the software is free for all its users. This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, out we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

hen we speak of free software, we are referring to freedom of use, not

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things. To protect your ingifus, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights because the certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it. For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they too, receive or can get the source code, if you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can reliak them with the library after making changes to the library and recompiling it.

And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder.

illorary must be consistent with the full freedom of use specified in this license. Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs. When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits strictified of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria of freedom. The Lesser General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. He company the provides advantages in certain special circumstances.

the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard.

To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License. In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system. Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNILLESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION

- AND MODIFICATION

 O. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each license is addressed as were

sections when you distribute the aim as separate works. But when you distribute the same sections as part or a whole which is a work terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you rather, the intent is to secretise the right to control the distribution of derivative or collective work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library with the Library or with a work to see the Library or an accordance on the Library or with a work to see that the conditions of the cordinary GNU General Public License has appeared then you can be compared to the cordinary GNU General Public License has appeared to the cordinary GNU General Public License has appeared to the cordinary GNU General Public License and then you can be compared to the cordinary GNU General Public License and the copy so the ordinary GNU General Public License and the copy so the ordinary GNU General Public License and the copy so the ordinary GNU General Public License and the copy so the ordinary GNU General Public License and the copy so the ordinary GNU General Public License and the copy or and distribute the Library or a portion or derivative terms of Sections 1 and 2 above on a medium customerity used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy from a designation of the license

As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work

- distribution.

 d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above
-) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
 or an executable, the required form of the 'work that uses the ibrary' must include any data and utility programs needed for eproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that s normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating accompanies the executable. system on which the executable runs, unless that compunent resen accompanies the executable. It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that have distribute.

- cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

 7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-byside in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

 a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

 b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

 3. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License, Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

 9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library of the derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing the Library complished by law if you do not accept the conditions for copying, distributing the Library (or any work based on the Library) and works based on it.
- all its terms and conditions to copying, distincting or insuffying the Library or works based on it.

 10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third
- herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain earliesh tran distribution of the Library.
- apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
 It is not the purpose of this section to induce you to infringe any it is not the purpose of this section to induce you to infringe any to contest validity of
- through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

 This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this Licensee.

 12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

 13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new
- by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

 If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software

NO WARRANTY

END OF TERMS AND CONDITIONS How to Apply These Terms to Your New Libraries

-8-